

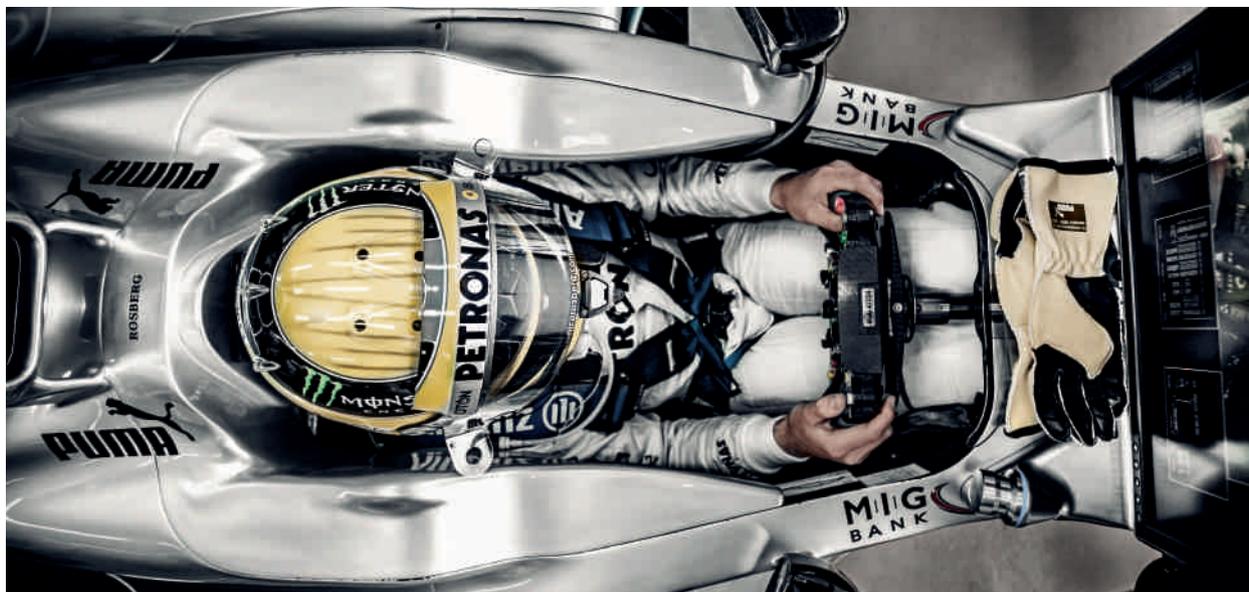
A Formula 1 race car, primarily silver with teal accents, is shown from a low-angle perspective on a racetrack at night. The car features prominent branding for 'PETRONAS' and 'MIG BANK'. The driver's helmet is visible, featuring yellow and blue patterns. In the background, a large, multi-tiered stadium is filled with spectators, illuminated by bright lights. The overall scene conveys a sense of high-speed engineering and professional sports.

INGENIEUR

明確なビジョンを持つ
テクノロジーに
付けられた名前：
インヂュニア



現在も受け継がれる特徴をすべて備えた最初のモデル：
「インヂュニアSL」(Ref.1832、1976年)



精密技術とパフォーマンス・エンジニアリングへの情熱を分かち合うIWCとメルセデスAMGペトロナスF1チーム

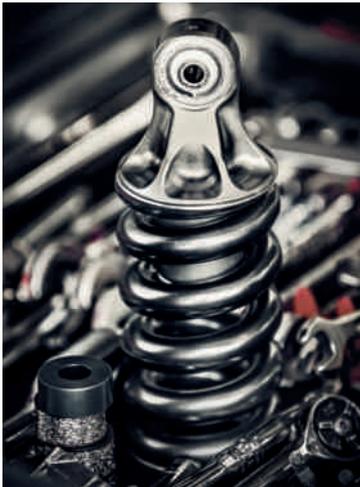
1970年代初め、フリーランスの時計デザイナージェラルド・ジェンタは、レマン湖のほとりを散歩中に見かけたダイバーのヘルメットが、スクリューでウェットスーツに固定されていることに気付きました。彼はこの小さな発見からインスピレーションを受け、非常にモダンで技術的なアプローチを取り入れた時計デザインで革命を起こしました。それは、ビスや機能ボアを隠さず、時計のベゼル上にわざと残したものでした。こうしてジェラルド・ジェンタのデザインによって、IWCシャフハウゼンの歴史に残る「インチュニアSL」(Ref.1832) が生まれました。ベゼルには

基礎となる5つの穴が設けられています。これらの穴で、製造時に特殊な工具を使ってベゼルを固定するのです。「インチュニアSL」は1976年に発表されました。男性的な魅力を感じさせる独創的なデザインに強靭さとスポーティーさを備え、高度な技術的要素を表現しています。このモデルは今日まで、「インチュニア」シリーズのデザインに影響を与えてきました。「インチュニア」シリーズの成功は、経済成長が著しい時代であった1950年代に始まります。

IWCのチタニウム表面加工は 今日でも最高の評価値の中の 一つを得ています

当時は多くの電化製品が人々の生活に浸透し始めており、これらの機器から発生する磁気で腕時計の精度に影響が出ていました。特にエンジニアは磁気力の作用する場所を仕事場とすることが多い職業です。この時点でIWCは文字盤と内部ケースに耐磁性の軟鉄を採用する技術を確立しており、エンジニアのように特殊な職業に適した新しい時計シリーズの開発を可能にしました。電気を表す稲妻のサインをあしらったこの新しい時計シリーズは、ターゲット層の代表的な職業である「インチュニア」と名付けられました。

1955年に発表された最初の「インチュニア」モデルは、時計製造における多くの面で飛躍的な進歩をもたらしました。設計者が目指したのは、強靱性かつ高い精度を備えながら、腕の動きで時計が巻き上げられる精密な時計を作ることでした。IWCはその4年前、すでに手巻き式から自動巻き上げ式ムーブメントの技術開発に成功していましたが、スイス時計産業界でIWCが技術的な先駆者として認められたのは、他社が実現



耐衝撃システム内蔵のIWCキャリバー 80110は、モータースポーツの緩衝技術からヒントを得ました

でき得なかった双方向自動巻き上げムーブメントの開発に成功した、この「インチュニア」シリーズが初めてでした。この巻き上げ機構(キャリバー 852および8521)は当時の技術責任者のアルバート・ペラトンによって発明されました。このペラトン自動巻き機構は、ローターの回転運動を歯車を通して伝えるのではなく、偏心形状のカムに伝えて、2つのつめが付いたロッキング・バーを通して双方向に動き、ゼンマイを巻き上げるのが特徴です。この高効率機構は新しいコレクションでも数種のモデルで採用されています。

1950年代の終わり頃には「インチュニア」の改良がさらに進み、1964年にキャリバー 854および8541で高い完成度を極めます。日付窓が新しくなった「インチュニア」の第2世代モデルは1967年に発表されました。

クォーツ時計が世界中で大流行した1970年代から1980年代にかけて、IWCは「インチュニア」のクォーツベースモデルを発表しました。その中には1983年発表の厚みがわずかに10ミリメートルの「インチュニアSL」(Ref.3505)モデルも含まれます。その後まもなく、機械式自動巻きムーブメントを搭載するモデル(Ref.3505)が再び登場します。それは、厚さが4ミリにも満たないキャリバー 375を搭載したモデルで、ダイヤモンド柄の文字盤が特徴でした。

1985年、IWCはチタニウムを採用した「インチュニア」モデル(Ref.3350)を発表しました。このモデルをもって、IWCは時計製造業界において素材開発のパイオニア的地位を確立するに至ります。

1989年には、IWCは磁気共鳴断層撮影装置(370万A/m)が発する磁気にも耐えうる耐磁性を誇る「インチュニア・オートマティック 500,000A/m」(Ref.3508)を発表しました。

そしてIWCが初めての「インチュニア」を発表してから50年後の2005年、この「インチュニア」シリーズは驚くべき復活を遂げました。ジェラルド・ジェンタが設計した「インチュニアSL」にインスピレーションを受け、そしてよりクールなデザインで「インチュニア・オートマティック」(Ref.3227)が登場したのです。ペラトン自動巻き機構を搭載して新しく開発されたIWC自社製キャリバー 80110は、衝突や振動に対する耐衝撃システムを装備しています。IWCとメルセデスAMGとのコラボレーションを記念して、2モデルのチタニウム製「インチュニア」が誕生しました。これらのモデルは、シャフハウゼンとアフアルターバッハの共通理念である精密さ、パフォーマンス、高度なエンジニアリングを表現していました。大型キャリバー 51113とペラトン自動巻き機構、さらに7日間のパワー



カーボンをケースの素材に採用した 新モデル「インチュニア・ オートマティック・カーボン・ パフォーマンス」が モータースポーツの ファンを熱狂させる

リザーブを備えた「ビッグ・インチュニア」ラインは、2007年に大きな注目を集めました。高い精度を求める機械式時計の愛好家のために、速度を容易に計算することのできるタキメーター・スケールを搭載したクロノグラフモデルも登場しました。

新しい2013年の「インチュニア」コレクションは、IWCとメルセデスAMGペトロナスF1チームとのグローバル・パートナーシップにより誕生しました。その基礎にあるパイオニア精神と優れたクラフツマンシップで製造技術者たちは未知の領域で新たな挑戦に挑みます。

メルセデスのエンジニアたちがシルバー・アロー（メルセデスF1レーシングカー、ジルバープファイルの英語呼称。「銀の矢」を意味する）をシーズンごとに改良するのと同じように、IWCは「インチュニア」コレクションを一新して2013年のスタートを切ります。機械式時計の愛好家にとって待望であった、よりパワフルなムーブメントや革新的な素材、そして胸躍らせる機能を盛り込みました。新コレクションの技術的なハイライトはダブルムーンフェーズ表示付きの「インチュニア・コンスタントフォース・トゥールビヨン」です。そ

れはまさに、精緻を極めたエンジニアリングの優れた効率性を形にしたモデルです。特許を取得しているコンスタントフォース付きトゥールビヨンを搭載しており、メカニズムの安定した動きが魅力です。また「パーベチュアル・カレンダー・デジタル・デイト/マンス」の、5つのディスプレイディスクが同時に動くクイックアクション・スイッチは時計製造技術における最高傑作と言えます。そのケースに使われているのは、F1の世界でも使われている素材、チタンアルミナイドです。

ベゼル上の特徴的な5つのセラミック製ビスカバーが際立つこの「インチュニア」シリーズに、カーボン、セラミック、チタニウムなどの最新のハイテク・レーシングカーに使われるさまざまな素材が採用され、新しいデザインをつくりだしました。ビスを使ってベゼルをケースに固定し、ジェラルド・ジェンタのデザインが新しく演出されました。さらにケースと文字盤がカーボンファイバー製の「インチュニア・オートマティック・カーボン・パフォーマンス」や、セラミックをケースに採用した「インチュニア・オートマティック “AMG ブラックシリーズ・セラミック”」も新しくコレクションに加わりました。また、スプリットセコンド機能のある「インチュニア・ダブルクロノグラフ・チタニウム」および第2時間帯を表示する「インチュニア・デュアルタイム・チタニウム」がチタニウム製ケースで登場しました。

そして、1976年の「インチュニアSL」や2005年の「インチュニア・オートマティック」の伝統を受け継ぐクラシックラインは、ステンレススティール製ケースとベゼル上の5つの穴が特徴です。技術面では、1955



0,1秒の差で勝敗が決まるサーキットピットでは、あらゆる動作にフィットする腕時計が要求される

年にさかのぼる初代「インチュニア」モデルのペラトン自動巻き機構や耐衝撃システム、および耐磁性などの機能が盛り込まれています。

「インチュニア・クロノグラフ・レーサー」と「インチュニア・クロノグラフ・ジルバープファイル」は、クロノグラフ計測、中間タイム計測、さらに一定距離の移動速度を計測する機能を備えています。「インチュニア・クロノグラフ・レーサー」にはモダンなF1レーシングカーの、そして「インチュニア・クロノグラフ・ジルバープファイル」にはメルセデス・ベンツにより製造された伝説のレーシングカーのエンブレヴィングが裏蓋に施されています。

ケース径が40ミリメートルで厚さが10ミリメートルの「インチュニア・オートマティック」は、細めの手首回りにも合うモデルです。ステンレススティール製ケースに備わった優雅な3本針と特徴的なベゼル上の穴は、「インチュニア」シリーズのデザインコードを反映しています。耐磁機能を備えている点も、同シリーズの技術面の伝統を受け継いでいます。

今年は、布製と革製インレイ付きラバー・ストラップが採用されました。ラバーの着け心地の良さと耐久性に加えて、外側の素材が与える美しい外観を兼ね備えています。

新しい「インチュニア」コレクションは、精巧かつ高品質なIWC製ムーブメントを愛する時計愛好家から、V8エンジンの轟音になにより興奮を覚えるモータースポーツファンまで、多くの人々を魅了するでしょう。



最短距離を走行するには、精密かつ完璧なタイミングが要求される





10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60

IWC
SCHAFFHAUSEN

INGENIEUR

25

SWISS MADE

巨大トルクを駆動させる パワードライブ

プラチナ製およびセラミック製ケースの壮大なタイムピース「インチュニア・コンスタントフォース・トゥールビヨン」の開発に成功したIWCは、オート・オルロジュリーの言わばコンストラクターズ・チャンピオンシップを制覇していると言っても過言ではないでしょう。トゥールビヨンに内蔵されたIWCが特許を持つコンスタントフォース（定力装置）機構が、テンプの振り角をほぼ一定に保ちます。非常に高い精度を少なくとも48時間確保します。新しく開発されたキャリバー 94800ムーブメントは、2つの香箱によって、コンスタントフォース付きトゥールビヨンの駆動に要するより強いトルクに必要なパワーを生み出します。さらに、ムーブメントに必要のパワーをも作り出すのです。ダブルムーンフェイズ

表示は、地球の唯一の衛星である月の表面を非常に写実的に描き出し、それは小さなクレーターを認識できるほどでもあります。また、カウントダウン表示は次の満月までの残り日数を示し、「4時」位置と「5時」位置の間に置かれたパワーリザーブ表示は、主ゼンマイのパワー残量時間を知らせます。サファイアガラスのシースルー裏蓋からは、スポーツカーのエンジンブロックからインスピレーションを得たムーブメントのデザインをご覧ください。網の目のように複雑に絡み合う輪列も、隙間からはっきりとご覧いただくことができます。これは、まさにパフォーマンス・エンジニアリングの真髄です。



インヂュニア・コンスタントフォース・トゥールビヨン

REFERENCE 5900



REF. IW590001

プラチナとセラミック製
ブラックのアリゲーター・ストラップ

機械式ムーブメント - 手巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合): 96時間 - パワーリザーブ表示 - 永久ムーンフェイズ表示 -
南北両半球のダブルムーンフェイズ - 次の満月までの残り日数を示すカウントダウン表示 - コンスタントフォース付きトゥールビヨン - ねじ込み式リュース -
両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - サファイアガラスのシースルー裏蓋 - 12気圧防水 - ケース厚さ 14mm - 直径 46mm

チタニウムとアルミニウムの 出会い

IWCは「インチュニア・パーペチュアル・カレンダー・デジタル・デイト/マンス」のケースに初めてチタンアルミナイドを採用し、時計製造業界の素材パイオニアとしての名声を確固たるものにしました。チタンアルミナイドはモータースポーツの世界で広く使われている素材で、この合金素材は、純正チタニウムより軽量で堅牢性に優れています。ケースの黒色部分には、フォーミュラ・ワン（F1）でも広く活用されているもうひとつの素材である酸化ジルコニウムが使われています。最新のレーシングカーが、エンジンの出力を最大限に上昇させるブーストボタンを装備しているように、日付と閏年のデジタル表示を備えた永久カレンダーは、革

新的なIWCのクイックアクション・スイッチを搭載しています。毎晩、日付表示が1日進むたびに生じる少量のエネルギーをこの装置が蓄積し、月末に蓄えられた全エネルギーを放出して、月ディスクと日付ディスクを切り替えます。年末には、少なくとも5枚の表示ディスクをすべて同時に動かさなければなりません。大晦日の夜には、3つの半透明なサブダイヤルを持つこの文字盤全体が動き始めます。文字盤を舞台とする壮大な技術のスペクタクルは、複雑機械式機構を愛する時計愛好家であれば見逃せない瞬間でしょう。サファイアガラスのシースルー裏蓋からは、車輪の輻を象ったローターを搭載したIWC自社製キャリバー 89802を鮮明にご覧いただくことができます。



インチュニア・パーペチュアル・カレンダー・ デジタル・デイト/マンズ

REFERENCE 3792



REF. IW379201

チタンアルミナイド製

ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合): 68時間 - 永久カレンダー - 大型の2桁デジタル表示 (日付・月) - 閏年表示 - ストップウォッチ機能 (時・分・秒) - 12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - サファイアガラスのシースルー裏蓋 - 12気圧防水 - ケース厚さ 17mm - 直径 46mm

ハイテク・ファイバー製ケース

メルセデスAMGペトロナスのフォーミュラ・ワン (F1) チームとの間に提携したパートナーシップを記念し、IWCは、ハイテク・カーボンファイバー製ケースを備える大型の新モデル「インチュニア・オートマティック・カーボン・パフォーマンス」を発表しました。5つのビスで固定されているケース中央部の構造は、レーシングカーの「モノコック」構造と同じ原理を採用しています。ファイバー素材をエポキシ樹脂に浸し成形し、それを高温高圧下で焼き固めた後に樹脂を硬化させます。文字盤もカーボンファイバー製です。まさに本物のF1レーシングカーの如く、このタイムピースの表情は立体的な深みを醸し出します。カーボンにはスチールに比べ、衝撃や傷に弱い面もありますが、重さはスチールの1/5と大変軽量です。IWCのデザイナーは、モータースポーツが先導する分野か

らさらなるインスピレーションを受け、ケースの他のパーツにも、特別な素材を採用しました。ビスカバー、リュース、そしてリュースプロテクターにはセラミック、ビスや裏蓋リングにチタニウム、布製インレイ付きラバー・ストラップにラバーを取り入れたのです。ストラップは、シグナルイエローもしくはシグナルレッドのナイロン製の糸でステッチが施され、シグナルイエローのステッチはソフトスリック・タイヤの表面に塗られている黄色いラインを、シグナルレッドのステッチはスーパーソフトスリック・タイヤを思い起こさせます。IWC自社製キャリバー 80110は、一体型耐衝撃システムを搭載し、急激な加速やブレーキ操作および強度の振動にも耐え得る、レーシングドライバーのための優れたタイムピースです。ピストンのシルエットを象ったローターが、デザインに完璧な調和をもたらします。



インヂュニア・オートマティック・カーボン・ パフォーマンス

REFERENCE 3224



REF. IW322401

カーボン製
ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ



REF. IW322402

カーボン製
ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ

イエローおよびレッドのナイロン製ステッチ各100本限定生産 - 機械式ムーブメント - ベルトン自動巻き機構 - パワーリザーブ（完全に巻き上げられた場合）：44時間 -
一体型耐衝撃システム - 秒針停止機能付きセンターセコンド - ねじ込み式リュース - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス -
サファイアガラスのシースルー裏蓋 - 12気圧防水 - ケース厚さ 14.5mm - 直径 46mm

最先端技術と クラフツマンシップ

新作「インチュニア・オートマティック “AMG ブラックシリーズ・セラミック”」は、メルセデスAMGが誇る傑出した機能性、実用性、そして信頼と高品質という特徴を兼ね備えています。名の由来でもあるAMGに敬意を表し、IWCのデザイナーは「インチュニア・オートマティック “AMG ブラックシリーズ・セラミック”」(Ref.3225)を洗練されたブラックで彩りました。その表面は、時によって高貴な光沢感やピアノのラッカーのような輝き、また時にはシルクのようなマット感であったりと、このダイナミックなハーモニーが更なる魅力を引き立たせます。このモデルは、ブラウンの文字盤のご用意もございます。トップクラスのAMGの車両に見ることのできる高性能セラミック製ブレーキから着想を得て、12気圧

防水を誇るケース、ベゼル、裏蓋リング、リューズおよびリューズプロテクターには、ブラックの酸化ジルコニウムを採用しています。ベゼルに並ぶ印象的なビスは、フロントガラス、ケースリング、そしてサファイアガラスの裏蓋を固定し、明らかにジェラルド・ジェンタがデザインした伝説的な「インチュニア SL」の技術的デザインを継承しています。この時計は、一体型耐衝撃システムを装備して、IWCがこれまで製造してきた時計の中でも最も強靱なムーブメントであるIWC自社製キャリバー 80110を搭載しています。また、サファイアガラスのシースルー裏蓋からは、高い精度を持つ高性能機構を鑑賞することができます。



インヂュニア・オートマティック “AMG ブラックシリーズ・セラミック”

REFERENCE 3225



REF. IW322503

セラミック製

ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ



REF. IW322504

セラミック製

ブラウンのカーフスキン製インレイ付きブラックのラバー・ストラップ

機械式ムーブメント - ベルトン自動巻き機構 - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合): 44時間 - 一体型耐衝撃システム -
秒針停止機能付きセンターセコンド - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - サファイアガラスのシースルー裏蓋 -
12気圧防水 - ケース厚さ 14.5 mm - 直径 46mm

チタニウムのダブルチャンピオン

フォーミュラ・ワン (F1) では、ラップタイムから、様々な技術的パラメーターおよびレースの経過状況など大切な情報を得ることができます。予選で最速タイムを記録したレーサーが、ポールポジションを獲得します。IWCとメルセデスAMGペトロナスのパートナーシップ提携に強く影響を受けた新「インチュニア」コレクションでは、ダブルクロノグラフは欠かせない存在です。ストップウォッチ針が作動し続ける一方で、スプリット・セコンド針を止めて中間タイムを計測することができます。「10時」位置のボタンを2度押しと、2つの針が再び同時に動き出します。この機能により、何度でもラップタイムの計測を繰り返すことができます。新キャリアー 79420を搭載した「インチュニア・ダブルクロノグラフ・

チタニウム」に、IWCのデザイナーはF1でよく使用される素材であるチタニウムをケースリングに、またセラミックをビスカパーに採用しました。ベゼル、リューズ、リューズプロテクター、およびプッシュボタンには、ブラックのラバーコーティングが施されています。積算計のデザインは、均整のとれた計器の外観を呈し、回転速度計 (タコメーター) をも連想させます。シルバーメッキ、もしくはブラックの文字盤のモデルがございます。通常、ブラックのラバー・ストラップにてご用意しておりますが、ご希望により、長さの微調整が可能なクラスプが付いたチタニウム製ブレスレットのご用意もございます。



インチュニア・ダブルクロノグラフ・ チタニウム

REFERENCE 3865



REF. IW386501

チタニウム製
ブラックのラバー・ストラップ



REF. IW386503

チタニウム製
ブラックのラバー・ストラップ

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 44時間 - 日付・曜日表示 - ストップウォッチ機能(時・分・秒) - 秒針停止機能付きスモールセコンド - 中間タイム計測用のスプリットセコンド針 - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 16 mm - 直径 45mm

世界を股にかける

メルボルン、アブダビ、モンツァ、サンパウロ、クアラルンプール。国際的なフォーミュラ・ワン（F1）のチームは年に20回行われるレースのために、世界中を移動します。様々な異なるタイムゾーンへ移動する間でも、新作「インチュニア・デュアルタイム・チタニウム」は任意のタイムゾーンの現地時刻を表示することによって、順応性を高めました。複数の大陸やタイムゾーンを跨いで移動したり、コミュニケーションを取ったりする現代のグローバル社会で生きる私たちにとって、時間の把握は大切です。文字盤に表示される現地時間は、国際日付変更線を越える場合

でも、ラバー・コーティングされたリュースにより時間単位で進めたり戻したりすることができます。先端がホワイトに塗られた針のホワイト・トライアングルが24時間リング上で第2時間帯を示します。つまり、ホームタイムやビジネス・パートナーの現地時刻を常に読みとることができるのです。また、午後6時から午前6時にあたる上部分が、午前6時から午後6時にあたる下部分よりも色が濃く配されており、昼夜の区別をより分かりやすくしています。ご希望により、ブラックのラバー・ストラップが付いた「インチュニア・デュアルタイム・チタニウム」のご用意もございます。



「インチュニア・デュアルタイム・チタニウム」により様々な異なるタイムゾーンへ移動する間でも、常にホームタイムを把握することができる

インチュニア・デュアルタイム・チタニウム

REFERENCE 3264



REF. IW326403

チタニウム製

ブラックのラバー・ストラップ

機械式ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ（完全に巻き上げられた場合）：42時間 - ジャンピングアワー針（TZC = タイムゾーン・コレクター） - 24時間表示（第2時間帯） - 日付表示 - 秒針停止機能付きセンターセコンド - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 13mm - 直径 45mm



キーワードはサーキット

IWCシャフハウゼンはメルセデスAMGペトロナスのフォーミュラ・ワン (F1) チームの公式技術パートナーとして、2013年ついにF1シーズンに乗り出します。両社のデザイナー、技術者およびエンジニアは、精度とパフォーマンスエンジニアリングによる完全性への追及に対する情熱を共有できるでしょう。このパートナーシップ提携を記念して、IWCはステンレススティール製「インチュニア・クロノグラフ・レーサー」を発表しました。裏蓋にF1レーシングカーのエンブレヴィングが施されたこの堅牢なタイムピースには、最も高い効率性を誇るIWC自社製キャリバー 89361が搭載されています。計測された時間と分はひとつのサブダイヤル上に表示され、1分未満の計測時間はストップウォッチ針で示されます。また、この時計に装備されたタキメ

ター・スケールは、1,000メートルの距離を移動するのにかかる平均速度を計測します。フライバック機能をも備え、クロノグラフの計測を瞬時に止めて、中断することなく直ちに次の計測を再開することが可能です。まさに、ピットストップの計測に最適です。スレートカラーの文字盤にブラックのサブダイヤルを備えたモデル、またはシルバーメッキの文字盤にシルバーメッキのサブダイヤルとブルー針を備えたモデルの、2つのモデルからお選びいただけます。チャプターリング上にレッドで色付けされた「60」のデザインは、メルセデスAMGペトロナスのレーシングカーに取り付けられているハンドル上のデジタル表示からインスピレーションを得たものです。両モデルとも、ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ、あるいはステンレススティール製ブレスレットのご用意がございます。

インヂュニア・クロノグラフ・レーサー

REFERENCE 3785



REF. IW378507

ステンレススティール製

ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 68時間 - ストップウォッチ機能(時・分・秒) - 12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リュウズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 14.5mm - 直径 45mm

インヂュニア・クロノグラフ・レーサー

REFERENCE 3785



REF. IW378509

ステンレススティール製

ブラックの布製インレイ付きラバー・ストラップ

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合): 68時間 - ストップウォッチ機能(時・分・秒) - 12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 14.5mm - 直径 45mm

インヂュニア・クロノグラフ・レーサー

REFERENCE 3785



REF. IW378508
ステンレススティール製
ステンレススティール・プレスレット



REF. IW378510
ステンレススティール製
ステンレススティール・プレスレット

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 68時間 - ストップウォッチ機能(時・分・秒) -
12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リュウズ -
両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 14.5mm - 直径 45mm

伝説へのオマージュ

IWCは新作「インチュニア・クロノグラフ・シルバークラフファイル」を発表し、メルセデス・ベンツの歴史的なレーシングカーの伝説に新たな命を吹き込みました。ペルラージュ装飾が施されたシルバーあるいはブラウンの文字盤が特徴的なこのタイムピースは、同じくペルラージュ装飾を施したスチール製ダッシュボードを搭載していた伝説のレーシングカー、シルバー・アロー W25へのトリビュートです。IWC自社製キャリバー 89361の二重爪巻上げ機構は、今日のオート・オルロジュリー（高級複雑時計製造）において最も輝かしい偉業のひとつです。積算計に計測された時間と分は、時刻を読み取るように簡単に読み取ることが可能です。1分未満の計測時間はストップウォッチ針で示されます。タキメーター・スケールにより、1,000メートルの距離を移動するのにかかる平均速度を計測

することも可能です。世界各国のサーキット場を訪れる人にとって、もうひとつの便利な機能はピットストップを計測できるフライバック機能です。このクロノグラフに使用されているカーフスキン製インレイ付きのブラック・ラバー・ストラップは、強靭なレザーベルトが車のボンネットに頻繁に使用されていた1930年代のモータースポーツの世界からインスピレーションを受けています。裏蓋には、名高いシルバー・アローのデザインが秀麗にエングレーヴィングされています。メルセデス・ベンツのシルバー・アローは、1934年から1939年にかけて、数々の優勝記録をグランプリと世界選手権において残しました。2つの文字盤モデルは、それぞれ1000本限定生産です。



インヂュニア・クロノグラフ・ジルバープファイル

REFERENCE 3785



REF. IW378505

ステンレススティール製

ブラウンのカーフスキン製インレイ付きブラックのラバー・ストラップ

各1000本限定生産 - 機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合): 68時間 -
ストップウォッチ機能(時・分・秒) - 12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド -
ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 14.5mm - 直径 45mm



インヂュニア・クロノグラフ・シルバープファイル

REFERENCE 3785



REF. IW378511

ステンレススティール製

ブラウンのカーフスキン製インレイ付きブラックのラバー・ストラップ

1000本限定生産 - 機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ（完全に巻き上げられた場合）：68時間 - リューズ操作による日付表示の早送り機能 - ストップウォッチ機能（時・分・秒） - 12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 14.5mm - 直径 45mm



「インチュニア」のクラシックライン

ステンレススティール製でサイズを抑えたケース径の「インチュニア・オートマティック」は、細めの手首を考慮してデザインされました。厚さがわずか10ミリメートルにもかかわらず、軟鉄製インナーケースを搭載し、最大の耐磁性と12気圧防水の機能を備えています。この「インチュニア・オートマティック」は、同シリーズの伝統的なデザインを受け継ぐモデルです。それは優雅さと機能が融合した3針のデザインからも明らかです。ベゼル上に配置された「穴」は、時計デザイナーのジェラルド・ジェンタの発案によって作りだされました。伝説のモデルである1976年の「インチュニアSL」では、ベゼルの固定するために5つの穴がベゼル上に直接配置されていました。それ以来、稲妻を模したマークと並ん

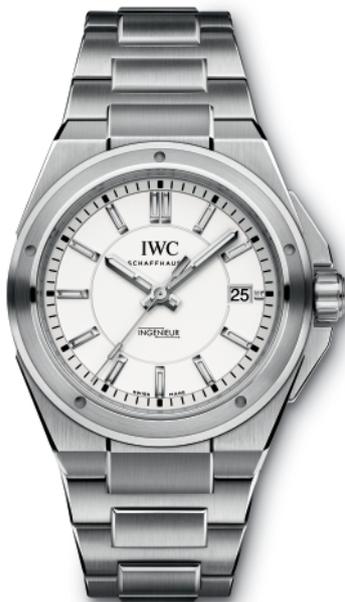
で、この5つの穴を配置したデザインは、「インチュニア」シリーズのトレードマークとなりました。メタル製で強固な作りである針、そして頑丈に設計されたリュースプロテクターが、まさにこのタイムピースが「時間の金庫」であるかのように思わせることでしょう。「インチュニア」シリーズのクラシックモデルでは、シルバーメッキまたはブラックの文字盤からお選びいただけます。シルバーメッキを施した文字盤のモデルではロジウムメッキもしくはローズゴールド製の針とアップライト・インデックスが、ブラック文字盤のモデルではロジウムメッキの針とアップライト・インデックスが魅力的なコントラストを表現しています。

インヂュニア・オートマティック

REFERENCE 3239



REF. IW323906
ステンレススチール製
ステンレススチール・ブレスレット



REF. IW323904
ステンレススチール製
ステンレススチール・ブレスレット



REF. IW323902
ステンレススチール製
ステンレススチール・ブレスレット

機械式ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ（完全に巻き上げられた場合）：42時間 - リューズ操作による日付表示の早送り - 秒針停止機能付きセンターセコンド -
ねじ込み式リューズ - 耐磁性軟鉄製インナーケース - 両面反射防止加工を施したフラットサファイアガラス - 12気圧防水 - ケース厚さ 10mm - 直径 40mm